

名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

例会場 名古屋グレストンホテル TEL 052-264-8000
 例会日時 木曜日 12:30
 クラブ会報広報委員長 横田 佳奈
 HP <http://rc.nagoya-seinan.org/>

2020-21年度RLテーマ
 会長 ホルガー・クナーク



承認 1995.3.28
 会長 成田 勝彦
 幹事 恵利 有司
 事務局 名古屋市中区栄3-29-1
 名古屋グレストンホテル 1007号
 TEL 052-263-1324
 FAX 052-263-0730
 Email seinan1@fancy.ocn.ne.jp

成田勝彦会長 年度目標 : “一致団結” 和気あいあいと仲よく楽しく過ごそう

第1145回 例会	No. 2 令和2年7月16日(木)
■ロータリーソング	「我等の生業」「四つのテスト」
■出席報告	会員46名中22名出席
■出席率	51.16% 出席計算人数43名
■修正出席率	6月25日 休会
■ゲスト	名古屋中央RAC会長 立石道子さん 米山奨学生 ダダボエブ アフロルさん

会長挨拶 成田勝彦

皆さんこんにちは。本日は中央ローターアクト立石みち子さんにお越しいただいております。皆さんもご存知だと思いますが、会員の立石さんの娘さんであり、同クラブには田島さんの息子さんや藤田さんの会社の社員なども在籍しております。

このローターアクト計画書を読ませていただいたんですけども、今回の方針は「つかむ」と言うテーマ。日々チャレンジして、このチャレンジを逃すことなくつかんで、個々のスキルアップを図り、みんなで助け合いながら過ごして欲しいという願いがあるそうです。今後ともこの出会いをつなげるために一緒に広めていきましょう。

今回感染予防のため三密を避けるということで、テーブル席を6人から4人にしました。先ほど亀井さんから説明がありましたけれども、どうでしょうか？亀井さんより、「皆さんが少しでも出席できますように」ということで、検温と消毒液そしてマスクを寄付していただきました。本当にありがとうございました。今は新規感染者の推移は再び増加しております。政府は第二波なのかどうかという事の判断さえまだ避けているような状態ですけれども、自粛なのか、経済を優先するのかその辺も矛盾した対応に対して、我々国民が混乱の状況を避けていかなければいけない、そのような状態です。安心して暮らすには、私たち一人一人が危機意識を持って状況を注視しながら、早急にワクチンや薬などを開発に力を入れていかなければならないと、私はそう思っております。できれば世界で最初に日本の医師の手で、成功を成し遂げていただければ本当にありがたいなと、私は思っております。私自身期待をしております。以上です。

次回例会予定
●7月24日(木)休会(定款第8条1-Cにより)
7月31日(木)第1146回例会「財団奨学生卓話」

ニコBOX

藤田さん RAC、ガンバって下さい。OBより！！
川原さん 本日久しぶりに卓話をさせていただきます。ご期待に応えられるかどうか。
●本日は会員卓話です。川原さん、どうぞよろしくお願い申し上げます。 成田会長、恵利幹事、松尾、堀江亮介、横田、岩田、安江、小原、立石、水野、中野、後藤、西川、加藤、亀井、田中、磯部(敬称略)
●委員長就任祝い 高橋さん
本日合計 42,000円

地区委員会委嘱状伝達

地区グローバル奨学生・平和フェロー委員として、田中如以さんに委嘱状が届きましたので伝達いたしました。



米山奨学金贈呈

米山奨学金7月分をダダボエブ アフロルさんにお渡しいたしました。



ローターアクト支援金贈呈

青少年奉仕委員長 堀江亮介

青少年奉仕委員会事業として、ローターアクトの活動支援金 30 万円を名古屋中央 RAC 会長 立石みち子さんにお渡しいたしました。



名古屋中央 RAC 会長 立石道子

皆様こんにちは。今年度、名古屋中央ローターアクトクラブ会長の立石道子と申します。日ごろは、私ども名古屋中央ローターアクトクラブの活動にご支援いただき、ありがとうございます。

本日はまた、名古屋丸の内ロータークラブの例会にお招きいただきまして、まことにありがとうございます。貴重なお時間を少しいただきまして、最近行ってきましたローターアクトクラブ変更点をいくつかご紹介いたします。

2019 年青少年議会で国際ロータリーの組織規定を改正し、その結果、ローターアクトクラブは、国際ロータリーの加盟クラブに含まれることになりました。

それによる大きな変更点は 3 つあります。

1 つ目 2020 年 7 月から年齢上限 30 歳が撤廃され、18 歳以上の若い成人が参加できるようになりました。

2 つ目 2020 年 7 月より国際ロータリーに一人当たり 8 ドルの人頭分拠金を開始します。

またクラブ設立が可能となること、ローターアクトクラブが他のローターアクトクラブのスポンサーとなることも可能となりました。もちろん、今後とも従来通りのロータークラブがスポンサーホストクラブとなることも可能です。事実問題として、円滑なクラブ活動を進めるにはアクト会員だけでは困難な状況です。

大変恐縮ではございますが、今後ともご支援いただきますと大変ありがたいです。宜しく申し上げます。

変更点ですがロータリーの友の 5 月号の中に、アクトの特集が簡単に組まれていて、ここにも詳しく載っていますので、ぜひこちらもご一読いただけますと幸いです。ありがとうございました。



大変久しぶりの卓話でスムーズに話せるかどうか分かりませんが、実はこういう本を見つけました。「アルツハイマー病真実と終焉」。英語で言うと「The End of Alzheimer's」。この作者はデール プレデセンと云うアメリカの神経学者で大変有名な人で「(アルツハイマーは) 治せる」と書いてあったんで飛びついたので。アルツハイマーが治るなんて誰も信用していないので、この先生がここまで発表するのにアメリカでも大変苦労され、その歴史も NHK で報道しておりました。そのお話を今日させていただこうと思っております。



認知症と言うのは 4 つの形がありまして、

- ① アルツハイマー型認知症 (通常痴呆はこれを指す)、
- ② 血管性痴呆 (脳動脈硬化症)、
- ③ レヴィー小体型認知症、
- ④ 前頭型側頭葉変性症。

僕は痴呆が専門ではありませんので分かりませんが、一般的に言うと痴呆症というとアルツハイマー型認知症を指すことが 1 番多いということ言えると思います。アルツハイマーの原因とは、脳にアミロイド β が蓄積することで、これは実験などで証明されています。ですので多くの製薬会社はこれを除去する薬を一生懸命開発するために、莫大な研究費を使っているわけですが、1 つも成功しないんですよ。今あるアルツハイマーの薬もプレデセン先生は必ずしも批判はしませんが、「はっきり言えば効果は無い」と言えますね。日本では 20 種類ぐらい認められていますが、おそらく効果がないと思います。

実はこのプレデセン先生のすばらしいところは、一人一人認知症の患者さんを掘り下げていったわけですね。アミロイド β と言うのは脳に沈着しているものですから、これが原因で認知症になると考えられているわけですが、プレデセン先生は、アルツハイマーで何が起るかと言うと、ニューロンとニューロンをつなげるシナプスがやられるということで、アミロイド β はむしろそれを修復することに使われている。だけどその結果、アミロイドが沈着する。あまりにもアミロイドが沈着すると害を起すと考えられている。としていて、一方的にアミロイドが悪いと言っているわけではないんですね。アミロイドは、むしろそういう修復する過程で生まれてきたものだと言っているのです。ただし診断的には、アミロイド β が CT で見つかる、非常に認知症という診断

会員卓話

「アルツハイマーと治療 (リコード法)」

デール・プレデセン『The End of Alzheimer's』より
川原弘久

がつきやすい。アメリカでは既にやられていまして、ご存知でしょうか？レーガン元大統領のナンシー夫人が「主人はいずれ認知症になるから 社会から姿を消す」と言って山の中の山荘で隠遁生活を送りました。なぜそんなことがわかるかという、PET で検査したからです。ようやくですが日本でも治験が始まるようになりました。東名古屋画像診断クリニックでもまもなく治験が始まります。それに先だって僕が被験者になりましたが、ありがたいことにβアミロイドは沈着しておりませんでした。だからまあ認知症じゃないなということがわかります。

プレデセン先生は、奥さんが代替療法をやっていたと言うことで、東洋医学的な発想はその奥さんからの影響で、奥さんと話をしながら、原因を探る方法を変えたのです。そして一人ひとりの患者さんの聞き取りをずっとやっていく中で、発症の原因には大体3つの形があるということ、彼は見つけました。

① 1型アルツハイマー（炎症感染症型）

これは慢性炎症や、慢性の感染症が非常に極端に存在する場合。これがずっと慢性炎症を起こしている。必ずしも微生物ばかりではなくて、トランス脂肪酸やグルテンとか乳製品なんかでも起こるということです。

だからグルテンとか乳製品に反応する人は、それらをしよっちゅうとっている人ですね。長期間とっていればアルツハイマーになっていくという分析をしたわけです。

② 2型アルツハイマー（ホルモン・栄養素・栄養分の不適化）

例えばビタミンが欠乏していたり、ホルモンバランスが崩れていたり、糖尿の人にも認知症の人が増える方向にあります。それはインシュリン抵抗性のためだと言われています。

治療法の中に糖の制限というのが必ず入ってきます。

③ 3型アルツハイマー（毒物）。毒物に長期間さらされている場合、例えば銅や水銀、あるいはカビが発生したマイコトキシン、入れ歯に使われたアマルガム。治療法の中ではカビを良くするために住居を変えとかそういったことも事例として出てきます。

こうした3つの形が原因と。場合によっては1と2がオーバーラップしているということもある。したがってアルツハイマーの原因は主に3型に当たれば良いので、当てはまったらその原因であるものを良くすれば治療になると言うことです。先生はもう一つ元的要因として遺伝的要因（APOE4）を1つ（片親から）もっていると、アルツハイマー病になる生涯リスクは30%アップ、2つ（両親から）もっているとリスクは50から90%。

50から90%と言うのはかなり幅のある数字ですがこういった方のチェックをするといいですね。

私もはまだやっていませんので、そろそろ取り掛かるといいかと思っています。これ採血して形を出すだけですからね、皆様方ぜひそんなに高くないと思うので、1回チェックしておくといいですね。初期の頃で10%位持っていると言われています。

だから10人に1人くらいは持っているということなので、どのぐらいの認知症が発生するかという、推定

2035年では大体20%がなる。と考えれば日本では10,000,000から12,000,000人くらい発症する可能性がある。実際2025年には認知症が7,500,000人ぐらいになると言われています。もうすぐの未来です。治療法がなくて



もしこれだけこれだけの認知症が生まれたら社会は大混乱が起きます。

このことに処するのに大変なお金と労力がいると言うことで、これはアメリカでは静かなる戦争と言っています。

それが、もう全然治療法がないと思っていたら、このリコード法というのが出てきて、私は大変ほっとしています。問題は1型2型3型それぞれの原因を取り除くためにどういう型なのかと言うことを調べるのに膨大な検査がいるんです。これを自費医療でやりますと、アメリカでも3,000,000から4,000,000円、治療を含めると7,000,000円位かかると言う話があって、これは現実的ではないということで、プレデセン先生もこういう徹底的なことをやるのは大変お金がかかるので、もう少し簡便法は無いかと今模索されている最中です。私は日本でリコード法をやるのは大変だなと思っていますが、それでも取り組まなければいけないと言うことで、東京にあります豊島中央病院と言う小さなクリニックを持っていますので、そこで理事長をやっています堀川医師にやってくれと、ようやく動き始めました。しかしこれを広めていくのは並大抵なことではないなと思っています。静岡に非常に現実的なリコード法をやっているところがあるのですが、これはアメリカのプレデセン先生の所と連携をとりながら、きちっとやろうと言うことでやり始めているところです。もし身内の方で、こういう治療法で治療させてあげたいと思われる方は、静岡に通われればいいんじゃないかなと思います。それでも、リコード法も効果ないわけではありませんが、完全に認知症になると戻るのが大変なんです。したがって早期に発見することが大事です。認知症の始まりは大体SCIと言う、これは第三者から見ても異常には思えないと言う主観的認知機能障害と言われておりまして、次に進むとMCI。これは軽度認知機能障害。これは本人も第三者もわかる状態で、少なくとも私どもはこのMCIで発見したいなと思っています。MCIで発見して、できたらできるだけのリコード法を全面的にやると言うわけにはいかないけれど、そこからエッセンスだけ取り除いて、治療ができたならなあと思っています。最後に一番原則的なことを言うならば、1から3型をちゃんとチェックして、膨大な検査をやらなければいけないんですけれども、それでどの型かと、それと起こっている原因環境が原因なら環境を良くする慢性異常があった場合は、その慢性異常を治療する。

そういう原則的な治療法をやるのが1番望ましい。た

だ先ほど申し上げました通り、これを原則的にやろうと思うとべらぼうなお金がかかるので、何とか簡便法みたいなものを模索しようかなあと考えておりました、私どもは、労災病院を中心として運動療法・音楽療法・栄養指導・人工炭酸泉治療この4つの組み合わせで治療しています。私の予想では、人工炭酸泉療法と運動療法の組み合わせが一番いいかなと。これもテレビでずいぶん報道されました。

NHKの報道番組では日本人のMCIの患者さんは、自転車で大体1時間走りまわっていることで、だいぶ戻ったと言うことを報告していました。それを見ると運動療法って大事だなあと。したがって私なんかはあんまり運動しませんが、できるだけウォーキングそれからゴルフとかでもいいと思う。できるだけ運動するという事です。

先ほど言いました通りこういう治療法が、薬を使って画期的に治すと言うよりも、地道に生活改善をしていく治療法なので、とことん認知症になるよりはMCIの段階で認知症を見つけると言うことが大事です。

できるだけ早く認知症を知りたいと言うことで、河村市長に直談判をしまして、名古屋市では認知症の検診を4月から始めています。

できるだけうちの法人組織の中でやれるところは地道に取り組んで生かせるようにしたいなと思っているところです。

認知症と言うのは先程も言いましたけれども平均寿命が上がるに従って発生リスクが高まってきますから、どこの国でも長命になったらぶつかる問題です。これが薬を使えばしっと治せる病気ならいいんですけど、今日まだそこまで至っていないと言う事は、これは地道な治療法をやらなければならないと。今までは全く打つ手がないと言われていたものが、こういう方法があると言うことがわかっただけでも、どれだけ精神的に助かっているかわかりません。

質問をされても僕はこの本の受け売りですので、明確には答えられません。一般人向けに書かれている本でわかりやすいので是非皆さん方お読みください。

財団 NEWS 7月号より抜粋転載

【RRFCから感謝のメッセージ】

第2地域 ロータリー財団地域コーディネーター (RRFC)

舟木 いさ子

2017年に竹腰兼寿様の後任として、RRFCを拝命し、3年間の任期も残すところわずかとなりました。任期中は、多くのみなさま方のご協力やご尽力を賜りまして、心から感謝申し上げます。

ロータリー財団はどのような組織なのかわかりにくいというお声もよく聞かれました。しかし、未来の夢計画に携わった方々のご努力下、現在の体制となつてからは、ロータリー財団も地区の財団委員会の活動も活発化し、とくに、今年度は「みんなのロータリー財団」として、より身近な存在となつたのではないかと思います。

「年次基金寄付ゼロクラブゼロ」を3年連続して達成していることは、日本のロータリーの評価を高めている

と思います。その一方で、グローバル補助金を十分に活用されていないのご意見もあり、昨年の夏には、元RI会長ゲイリー C.K. ホアン財団管理委員長と北清治財団管理委員が、東京と神戸まで足を運んでくださり、グローバル補助金の活用法を説明して下さい

ました。これをきっかけに、各地区の補助金のさらなる有効活用への動きにつながっていることは大変ありがたいことだと思っております。また、エバンストン本部補助金チームのCecelia Walterさん(第1地域担当)やSteven Sundstromさん(第2、3地域担当)は、日本語で連絡可能で的確な助言をしてくれます。

現在、COVID-19の感染拡大が日本だけでなく、世界の社会、経済活動に多大な影響をもたらしています。ロータリーの活動においても同様に、国際大会をはじめ、さまざまなイベントが中止となっています。しかし、このような状況においても活動をとめないよう、各クラブでは、通常例会や諸会議はビデオ、インターネット、WEBで行うなどの工夫をしています。また、奉仕活動も継続しており、病院やクリニックに防護用品や医療品の寄付を行い、医療関係者への支援を行っています。私が所属する東京白金ロータリークラブでも、「命を守る」ために日々戦ってくださっている北里大学北里研究所病院に、中国に在住している米山奨学生よりマスクを入手してお届けしました。COVID-19感染終息後も、皆様の地区が社会・経済的に立ち直るために、地区補助金、ロータリー災害救援補助金、グローバル補助金を有効に活用して頂きたいと思っております。

次年度のRRFCは服部良男様です。ガバナーやARRFC等を歴任されたご経験をもとに、強いリーダーシップを発揮し、日本のロータリーの活動がさらに活性化するように導いてくださることと存じます。これからも、皆様方がロータリアンとしての真価を発揮し、アーチ C. クランフの言葉通り「世界でよいことをしよう」を実行されることを心から願っております。

【GPEIの最終戦略に対し、カナダ政府が新たな公約を発表】

新型コロナウイルスのパンデミックが世界的な問題となっている昨今、毎年何百万もの命を救っているワクチンと予防接種の効果を認識することがこれまで以上に重要となっています。このような中、カナダのカリナ・グールド国際開発相がワクチンの供給に新たな出資を行うことを発表しました。グールド大臣は、世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)の最終戦略への支援として、4750万カナダドル(約36億5千万円)を4年間にわたり毎年拠出し、また予防接種の普及に取り組む「GAVI ワクチンアライアンス」への資金提供についても、次回の増資を待たずに期間を延長しました。

【ポリオプラス=野生株によるポリオ症例数】

		2020年 1月1日~ 6月16日	2019	2018	2017
常在国	パキスタン	55	147	12	8
	アフガニスタン	19	29	21	14
	ナイジェリア	0	0	0	0
世界合計		74	176	33	22